

2025年度支部総会報告

北海道支部

建築学S55卒業 支部長 羽 深 久 夫

日 時：2025年7月5日(土) 12:00～14:30

会 場：旅館 中村屋

出席者：来賓 学内運営委員長 浅野 貴行 様
会員 4名

北海道支部は、コロナ禍による支部総会の中止を経て、令和5年度より支部総会・会員交流会を再開し、支部会員の日ごろの関心ごとや研鑽の成果を披露する講演会を支部総会に組み込むことにした。支部役員会議は、支部役員の役割、本部HPの活用、支部会員の支部総会・会員交流会への参加、リモートによる支部役員会議や支部総会・会員交流会の開催について毎年話し合っている。

支部総会は、7月5日(土)の12:00～14:30に旅館中村屋で開催され、参加者は小西会員(S43、建築)、佐藤会員(S47、工化)、乗京会員(S50、産機)、羽深(S55、建築)4名と本部から学内運営委員長の浅野貴行教授(H4、応物)であった。はじめに、支部長挨拶、来賓挨拶を行った。そして、令和5年度から試みている会員の自己研鑽の発表として、佐藤会員の「第二の地球を探し求めて!」をテーマとして、太陽系外惑星の発見、赤色矮星を公転する惑星、系外惑星の生命体存在の可能性、地球は奇跡の惑星の内容で研鑽の成果を披露していただいた。次に、令和6年度支部長会議(3月1日)、福井支部での令和7年度全国定期総会(6月14日)の報告を行った。全国定期総会では永井工学部長により「工学部100周年記念事業の概要報告と御礼および工学部の近況報告」があったので、100周年事業の概要として、記念施設、百年史、記念式典、教育研究支援基金を説明し、令和6年7月20日にフェニックスプラザで行われた福井大学工学部創立100周年記念大会の報告も行った。特別記念講演『100年に感謝。地域とともにこれからも』における福井工業大学教授市川先生(H5、建築)の「工学部100年の礎に未来を築き上げる」、元福井大学工業会理事長・福井大学名誉教授川上英男先生(S28、建築)の「大学1期生として、母校教員として」と式典、祝賀会の概要を説明した。

議事では、令和6年度の事業報告と事業収支報告、令和7年度の事業計画案と事業収支計画案、令和8・

9年度の支部役員案を了承し、全国定期総会が6月末に開催されることに伴う支部総会の開催日について話し合った。堀前理事長の急逝に伴う支部対応、畑理事長就任などの本部対応についても報告され、全員で哀悼の意を表した。また、参加が叶わなかった池部会員(S49、建築)の会員の声である「思いで(その12)最終回」で旧防衛庁の北関東局次長・北関東局長時代の思い出、佐藤会員の「戦後80年沖縄の慰霊の日に思う」が紹介された。議事後は、集合写真を撮影し、懇親会で親睦をはかり、最後に恒例である小西会員の水彩画を参加者で鑑賞した。

10月25日(土)の12:00～14:30に開催された会員交流会は、イタリアンレストラン(イルキャンティ札幌)で行われ、理事数3の令和8・9年度本部役員案、令和8年度の近畿支部における全国定期総会(6月27日)、支部総会(7月25日)と支部交流会(10月24日)を確認した。



令和7年度支部総会
(前列左より羽深会員、浅野学内運営委員長、小西会員、後列左より佐藤会員、乗京会員)

関東東北支部

工業化学S45卒業 支部長 野 路 稔

日 時：2025年6月21日(土) 13:00～17:15

場 所：主婦会館クラルテ

参加者：来賓 工学部長 永井 二郎 様
会員 36名

2025年6月21日主婦会館クラルテにて参加者36名にて開催された。



永井工学部長挨拶



市川先生講演



来賓として工学部長永井二郎様からご挨拶を頂いた。永井様からは福井大学の現状と今後の展望をお話頂き、また前東北支部長三藤士郎様からの挨拶の後、福井工業大学市川秀和教授から『福井城址の戦後史と京都の顔づくりー災害復興と都市計画ー』のテーマで講演頂いた。

総会終了後、福井の地酒や名品も多く取りそろえた中で楽しく懇談した。

東海支部

電気工学S62卒業 支部長 高原 宏 行

日 時：2025年6月22日(日)

会 場：名鉄グランドホテル

出席者：来賓 学内運営委員長 浅野 貴行 様
 会員 39名

令和7年度の福井大学工業会東海支部通常総会は、令和7年6月22日(日)に名古屋駅前の名鉄グランドホテルで開催されました。東海支部恒例の名鉄グランドホテルですが、名古屋駅エリア再開発計画の影響で翌年から別会場での開催となり、思い出深い当ホテルでの最後の開催です。

堀理事長ご来場兼ご講演の予定でしたが、総会の直前で堀理事長の訃報が入り、会の開催自体を理事会で再議論、堀理事長を追悼する想いもこめて開催すべきと決意し、開催の運びとなりました。代理講演を引き受けて頂いた浅野教授にも大変感謝申し上げます。

司会は、理事の水野輝一さん(ER5)が務められました。

最初に急逝された堀理事長へ黙祷を捧げたのち、東海支部高原宏行支部長(E62)の挨拶で総会が始まりました。堀理事長の急逝の状況の共有から、堀理事長の最近でのご活躍として、万博でご披露された技術のご紹介に加え、テレビ東京でのご出演、緑を繋ぐ人としてご紹介、水を使わず染色する技術を世間に広くお伝えしたご功績の展開がありました。

今回の総会は、東海支部会員39名が参加し、会議成立。

監事の加藤裕康さん(ER62)より会計報告が行われ、年間事業報告と収支の報告がなされ、令和7年度の事業計画、予算案が承認され、閉会となりました。



堀理事長を偲んで

来賓ご挨拶として、浅野教授より、100周年事業の寄付が予算を超える3.6億円集まったことへのお礼があり、100年記念館の設立や記念イベントのご紹介がありました。工学部の近況については、工学部スタッフが入れ替わったこと、また大学の強みである高い就職率についてのご紹介がありました。

続いて記念講演では、福井大学が進めるマイクロ波を活用した廃棄物資源化技術についての紹介がありました。本技術は、マイクロ波による分子運動の誘導



浅野先生記念講演

によって加熱を行うため、燃焼を伴わずCO₂を排出しない点が特徴であり、カーボンニュートラルの実現に寄与します。

取り組みとして、オリーブオイル製造時に発生する搾りかすからポリフェノールを保持した飼料として再利用する技術の紹介や、レアメタルの抽出や、炭素を

カーボンナノチューブへ、水素をエネルギー資源として再利用する研究が進められおり、これらの技術は、国が掲げる循環経済(サーキュラーエコノミー)の実現に資するものだそうです。

後半では、福井大学が計画する新試験研究炉への期待が述べられ、中性子を活用した先端研究を推進するため、大学として原子炉を保有したい意向が示された。質疑では、太陽光パネル廃棄物への応用可能性や、処理エネルギーと得られる価値の効率性について質問が寄せられました。

恒例の記念撮影が終わり、懇親会も引き続き水野さんの司会で、高原支部長による乾杯のご発声で懇親会がスタートしました。



集合写真

懇親会では堀理事長を偲んで、元支部長 高瀬義市さん、大南勝計さん、谷口卓司さんと、浅野教授からコメントを頂き、出席者全員で堀理事長との思い出に耽りました。

余興は、2年ぶりに「おやじバンド」【横川信さん(M56)と加藤裕康さん(ERH1)のギター、小川幸利さん(IM63)のボーカル】による「ホテル カリフォルニア」の演奏が披露され、会場からは手拍子も起こり、大変盛り上がりしました。



バンド演奏



懇親会テーブルのーコマ

また、会場内では、恒例となった福井県名古屋事務所の協力により福井名菓の販売が行われ、今年も用意した商品は完売するという盛況ぶりでした。

最後は、次期支部長候補の福田治男さん(C50)の万歳三唱の音頭で無事にお開きとなりました。

これにて、電子・応物系による幹事は無事お役御免となり、令和8年からは繊維・染料系の幹事となりま

す。来年も盛り上げていきましょう！

(東海支部 ISH11 向富一洋 記)

北陸支部

建築学S40卒業 支部長 塚田 律夫

日時：令和7年6月21日(土)13時00分～17時

会場：ホテル金沢

参加者：来賓1名 支部会員27名 計28名

来賓：工業会事務局 上田 弘文 様

講演者 若崎 浄人 様

北陸支部では総会の運営・企画等は例年卒業後20年の会員が「20年会」を結成して中心的役割を担っており、今回は、平成16年卒の会員が20年会を担当しました。以下は20年会・橋本美里さんの記録です。

【北陸支部総会】

総会は、平間新潟地区支部長(建築S47)から開会のご挨拶をいただいた後、物故会員(支部会員5名)と堀昭夫理事長のご冥福を祈り黙祷いたしました。

その後、塚田北陸支部長(建築S40)から挨拶があり、続いて「工学部100周年記念事業の概要報告とお礼及び工学部の近況報告」をスライドにてご紹介いただきました。次に工業会本部上田弘文様から来賓のご祝辞をいただき、議事に進みました。

総会議事では、令和6年度事業報告および決算報告が承認され、引き続き、令和7年度事業計画および予算案、令和8年度総会について審議され、いずれも満場一致で承認されました。最後に広瀬富山地区支部長(建築S47)の閉会挨拶をもって、総会は滞りなく終了しました。

【記念講演会】

(株)若崎建築設計工場の若崎浄人様(建築S51)に「念願のエジプト紀行」の演題で講演して頂きました。詳細は「随想・回想・旅行記」で掲載しています。



【懇親会】

昨年に引き続き「福井弁で話想会(はなそうかい)」

と銘打った懇親会は、牧野副支部長(建築S53)の開宴挨拶にて宴がはじまりました。年代ごとに5つの円卓に分かれ、各分野で活躍されている皆様の交流会となりました。アトラクションとして懇親会恒例となりました宝田真意様(機械H1)の弾き語りピアノ演奏に盛り上がりました。そして今年度初参加の会員も含めて各テーブル代表者にスピーチをしていただき、その後「福井高工・高専歌」「福井大学学生歌」の斉唱が行なわれました。引き続き三浦副支部長(工化S43)のご発声にて万歳三唱を行いました。中締めとして閉会挨拶を広瀬富山地区支部長(建築S47)にいただきすべての日程を滞りなく終えました。

【謝辞】

今年の北陸支部総会実施にあたり、事務局の皆様にご多大なるご協力をいただきました。また諸先輩の方々のおかげで無事、北陸支部総会を終えることが出来ました。誠にありがとうございました。

来年の北陸支部総会で会員の皆様との再会を楽しみにしております。

(文責 建築建設工学H16卒業 橋本美里)

近畿支部

建設工学S56卒業 支部長 大谷 寛 治

今年の支部総会は、工業会理事長 堀照夫様と元近畿支部支部長 樫本照夫様のご逝去のお知らせという悲しい報告に始まりました。

近畿在住の同窓生にとって、年に一度堀様と懇親を深める貴重な場で、近況報告を楽しみにしておりました。8月には大阪・関西万博で水を使わない染色技術についての展示も控え、堀様ご自身も楽しみにされておられたと思います。樫本様は18年の長きに渡って近畿支部支部長を歴任されました。近畿支部の発展に尽力された恩人です。報告を聞いた多くの同窓生は言葉も失い、心からの悲しみに包まれました。

昨年に続き今年も6月21日(土)13:30よりニューオーサカホテル淀の間にて近畿支部総会及び懇親会を会員62名の参加を得て開催しました。

支部総会には、工業会理事長 畑孝幸様、福井県大阪事務所 所長 橋本直之様、工学系部門 教授 小高知宏様にご臨席賜り、ご挨拶頂きました。

支部総会議案では例年通り山川勇郎議長によりスムーズに議事が進められ、和田武之理事、河井恭一理事(会計)、楠本恵一理事(監査)から令和5年度の近畿支部事業報告、収支決算報告・監査報告、さらに令和7年度の近畿支部事業予定及び収支予算案を説明。1号議

案・2号議案について全会一致で可決されました。また、3号議案では松村祐一新理事も選ばれました。

毎年楽しみな講演会は、小高知宏教授に「進化するAIと我々がどう向き合えばいいか」をテーマに講演して頂きました。技術革新によりAIが幅を利かせる今、人間に求められる役割について、分かり易くご教示頂きました。



懇親会では、大谷支部長の献杯の音頭に始まり、会員の中から左藤章 元衆議院議員にもご挨拶をいただき、多彩な料理に舌鼓を打ちながら思い出話に花を咲かせました。

先人の積み重ねに感謝し、会の更なる発展を誓いお開きとなりました。来年は、本部総会が近畿主催となる事から参加者100人オーバーを目標に、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

(材料開発工学科H10卒業 理事 加藤久宏)

中国支部

建築学S51卒業 支部長 高田 明 彦

今年度の支部総会は例年通り6月最終日曜日29日に開催しました。工業会から前側福井支部長に出席いただき、支部会員6名が集まりました。このところ同じ顔ぶれですが年に一度円卓を囲み情報交換するのも楽しいものです。メインメニュー福井情報は前側節で聞かせていただきました。お土産の「五月ヶ瀬」も美味しく頂きました。

2025年広島10大ニュースの一つは新駅ビルの開業です。支部総会出席者の中にも建設工事関係者がいます。工事はまだまだ続くようですが、ひとまずお疲れさまでした。商業施設ミナモアはさておいて、新駅ビル一番の見どころは広電市内電車が2階に乗り入れ

ていることです。年末忘年会の時間待ちに初めて乗降場に行ってみました。時節柄クリスマスツリーも飾られていてグリーンムーバー（広電の3連結低床車両）の最新型が2台ホームに並んでいるところはまるで外国映画のワンシーン、圧巻でした。物見遊山の私を尻目にJRの改札を出て足早に電車に乗り込む人々を見ていると、広電は動く博物館とか言われていますがあらためて広島市民の足だと実感しました。

郊外線のバスセンターはそごうの入る広島センタービル3階です。以前は同じ敷地の地上にありました。安佐南区在住の私はいま市内へはアストラムラインです。出発は新交通らしく高架駅で、市内中心部の短い地下区間を通して到着駅は地下街シャレオです。広島には地下鉄も地下街もできないと言われていました。いずれも狭い三角州の中での土地の有効活用の策でしょう。便利さとともに感動ももらっています。

広島にお越しの際は、広島駅から広電の電車で原爆ドーム・平和公園を訪ねてください。お時間に余裕のある方は、広電で宮島もおすすめです。

四国支部

電気工学S50卒業 支部長 植田 豊 喜

日 時：2025年6月22日 13時～15時

会 場：司高知本店（土佐料理）

出席者：来賓 工業会理事長 畑 孝幸 氏

会員 12名（愛媛1 香川3 徳島3 高知5）

本年度の四国支部総会は、高知県の当番で、高知市で開催されました。

植田支部長より挨拶、四国支部会計報告がありました。来年度の総会は愛媛県の当番となり、四国支部長が愛媛県の西岡浄人氏（A54）に交代することになりました。また、長年出席されていまして芝野春男さんのご逝去の報告がありました。

次に、来賓の畑様からご挨拶をいただき、工業会の状況報告がありました。

四国支部の課題は「老若を問わず新しい参加者をいかに増やすか」に尽きるとの共通認識です。参加して良かったと少しでも思える会に出来ないかと思う次第です。

会員相互の親睦が、例えば最近のお米の価格問題とか、南海トラフ巨大地震に備える耐震工事など情報交換や社会生活に密接した生きた情報交換ができるのではないかと思う次第です。

懇親会は徳島県の豊田さんの乾杯のご発声で始まり

ました。出席者は皆さん顔なじみ、和気あいあいと会話が弾み、土佐料理に舌鼓をうち、盃、グラスを傾けました。

集合写真を撮り、来年は愛媛県で元気に再開しようと約して閉会しました。



番外編：

「あんぱん」は昨年4月～9月にNHK朝ドラで放映された、高知県香美市出身のやなせたかし夫婦をモデルとしたドラマです。多くの県民は、大きな期待をもって半年間を楽しみました。有ること無いこと、色々脚色されているそうですが、戦前戦後を生き抜いた夫妻の熱い思いが表現されており、今更ながら人生いかに生きるか、考えさせられた内容でした。

ドラマでは土佐言葉がふんだんに効果的に使われており、例えば、「たまるかあ」とか「[はいたらね]」とか、俳優陣のしゃべり方も違和感なく聞くことが出来ました。

（報告：応物S48卒業 森下裕幸）

九州支部

建築学S53年卒 支部長 柳 瀬 真 澄

日 時：令和7年6月28日（土）16時～

会 場：博多魚宴

出席者：来賓 工業会事務局 上田 弘文 様
(P49)

会員 7名

令和7年度福井大学工業会九州支部総会を、本部より工業会事務局の上田弘文様にご出席をいただき、参加者計8名により開催いたしました。

まず上田弘文様より本部の近況を交えたご挨拶をいただきました。その後藤田理事より全国定期総会報告、松尾理事よりの会計報告に続き、昨年の理事会で問題となりました「九州支部会則の一部変更」について柳瀬より説明を行い、全員一致で承認されました。内容

は近年の会員減等現状に合わせ、理事数および決議に必要な同意者数の見直し、オンラインにての参加の認可等です。

次に来賓の上田弘文様より「工業部100周年記念事業報告」及び「工学部の近況」について詳しくお話しいただきました。

一昨年より、会員の中からそれぞれの専門分野における講演をお願いすることになり、今年は高原建爾氏から「真言宗の僧になるということ」と題して、仏教の根本的な教えから、高野山での出家という実体験に基づいた貴重なお話を伺いました。専門分野の枠を超えた大変興味深い内容でした。

講演終了後の懇親会では、学生時代の思い出から卒業後のこと等話題は尽きることなく、支部会員同士の絆をより一層深める貴重な時間となりました。

